

## 議事概要

藤沢市政策会議を次のとおり開催した。

会議名	令和8年度第4回政策会議
開催日	2026年(令和8年)5月21日(木) 8:28~9:56
場 所	本庁舎6階 庁議室
出席者	鈴木市長、中山副市長、川崎副市長、宮原教育長 (政策会議委員) 市長室長、総務部長、企画政策部長、財務部長、防災安全部長、市民自治部長、生涯学習部長、福祉部長、健康医療部長、保健所長、子ども青少年部長、環境部長、経済部長、計画建築部長、都市整備部長、道路下水道部長、市民病院事務局長、消防局長、教育部長、議会局長、監査事務局長、選挙管理委員会事務局長、農業委員会事務局長
議 事	(1) 議題(審議事項) 1 令和8年度第1回藤沢市公共資産活用等検討委員会について(企画政策部) 2 令和9年度予算の編成方法について(財務部) 3 令和8年6月藤沢市議会定例会提出予定議案について(総務部) 4 令和8年度6月補正予算概要について(財務部) 5 令和8年6月藤沢市議会定例会常任委員会報告案件について(財務部・環境部・計画建築部・教育部) 6 開庁時間(窓口受付時間)短縮の試行について(総務部) (2) 報告・情報提供等 ア 令和8年度における重点化事業レビュー(サマーレビュー)の見直し及び今後の事業検討等の調査について(企画政策部)
内 容	1 開会 2 市長あいさつ ○先日の報道において、市民のために奉仕すべき職員が信用失墜行為を行ったことに大変衝撃を受けており、その他事務の誤りも複数発生をしている。市民に開かれた市政運営を目指し、取り組んできたところだが、甚だ遺憾であり、これまで市が培ってきた市民と市の信頼関係が著しく損なわれることになるのではと危惧しているところである。今一度所属職員が公務員としての職員倫理を再確認し、法令の遵守、公正な職務執行が徹底できるように適切なマネジメントに努めてもらうようお願いしたい。 3 議事 (1) 議題(審議事項)

内 容

1 令和8年度第1回藤沢市公共資産活用等検討委員会について（企画政策部）

□企画政策部長から、資料に基づき概要説明が行われた。

≪内容≫

藤沢市公共資産活用等検討委員会において、検討及び審査した結果を報告するもの。

≪主な意見等≫

なし。

≪結果≫

了承。

2 令和9年度予算の編成方法について（財務部）

□財務部長から、資料に基づき概要説明が行われた。

≪内容≫

令和9年度の予算編成方法について、概要を説明するとともに、今後のスケジュールについてお知らせするもの。

≪主な意見等≫

- 今後予定している事業も含めて公共施設再整備事業の事業計画や優先順位の見直し、実施の可否の選択を行うとしているが、再整備プランの改定も含めていかないと対外的な説明が難しい事業が出てくるのではないか。そのあたりの考え方や今年度のスケジュールは。
- 大きく変更するのであれば第4次再整備プランは改定していく必要があると考えている。スケジュールも含めて、今後の予算要求等も含めた中で検討していく。
- 昨年度の予算編成方法の依頼文と比較して、「特に都市基盤整備等については」と記載があったところ、今年度は「公共施設再整備事業等」と変更している。事務事業見直しを行ったうえで、さらに財政規模に合った財政運営となるようしっかりとやっていくべきではないか。事務事業見直しについて、部局側から「現状維持」と回答している中で行政経営室から現状維持なら別事業から財源を確保すべきとの指摘について、再考いただきたい。また、重点化レビューについても、実施しないとなると部局長レベルが入った中で政策的な議論をする場がない。一連の予算編成の中で担当課はやり取りするが、そこに部局長が入らないので、そのあたりをどう捉えていくのかお聞かせいただきたい。
- 依頼文に「公共施設再整備事業等」と記載している考えとしては、第4次再整備プランは個別事業の年度ごとの財政負担を示した中で策定しているが、当初の予算見込みで進めていくことが難しい

状況や、中期財政見通しで想定した以上の人件費や扶助費の伸びもあり、事務事業見直しで生み出した財源だけでは厳しく、大型の事業費を伴う事業も見直しをして、予算編成していきたいという趣旨である。どのように進めていくかは個別の事業をみながら検討させていただきたい。事務事業見直しについても、本当に必要な事業を検討し選択する必要があると考えているため、部局、財務部、行政経営室と連携しながら方向性を出していきたい。

- 重点化レビューについては、総合指針 2028 の後半期間に差し掛かるため、現行の重点事業にしっかりと取り組んでいただきたいが、行政サービスを考える中で新規事業が必要な場合や拡充が必要な場合があるため、重点事業の進捗確認と合わせて、今回調査をし、早期に把握したうえで、予算編成の調整を進めたい。
- 事務事業見直しについては、予算編成、予算査定の一つのツールだったのかと受け止めざるを得ない。事務事業見直しの理事者ヒアリングで少なくとも方向性が示されて、すぐに着手しなければ到底来年度予算には間に合わない。対外的な説明などのスケジュールも含めた調整を図っていただきたい。また管理部門は担当課のモチベーションを下げる形ではなく、担当課と一緒に取り組んでいく姿勢が必要ではないかと思うので、ご一考いただきたい。
- これまでは政策主導と言っていたものを、財政主導へ変えていく宣言と捉えている。一方で、担当課としてなるべく方向性に沿う形に収めていく調整のためにはその後ろ盾が予算編成方針のみだと、対外的な説明が厳しい。ぜひ早い時期に予算編成方針だけでなく、対外的に説明できる方針を示していただきたい。
- 予算編成の手法が細分化されているので、予算担当主任会議では、予算担当主任がしっかり理解できるような説明をお願いしたい。物価高騰による影響、扶助費の増、人件費の増などは義務的経費になるので、予算を確保した上で、残った一般財源でどうしていくかを検討していかないと予算が組めないと考える。公共施設再整備や都市基盤整備事業とまとめているが、昨年調査した下水道についても、神奈川県内で一番老朽化が進んでいるのが藤沢市だという結果が出ており、これは義務的経費として実施をしていく必要があるのでは。改めて大枠で予算担当主任がしっかり理解をして、編成していくことが必要である。義務的経費については、一般財源を確保して枠にはめていくことや一件査定をするなどしてほしい。
- 財政状況が厳しい中で全庁的に取り組まなければならないため、ぜひ協力をお願いしたい。

《結果》

了承。

3 令和8年6月藤沢市議会定例会提出予定議案について（総務部）  
□総務部長から、資料に基づき概要説明が行われた。

≪内容≫

令和8年6月定例会に上程する予定議案について報告するもの。

≪主な意見等≫

なし。

≪結果≫

了承。

4 令和8年度6月補正予算概要について（財務部）

□財務部長から、資料に基づき概要説明が行われた。

≪内容≫

令和8年度6月補正予算の概要及び事業の概要について報告するもの。

≪主な意見等≫

○18、19億円近い補正額のうち、一般財源が1億6千万円。今後補正予算を組むにあたって繰越金を活用するが、令和7年度はどれくらい発生するのか。今年度の補正でどう使って、最終的にはいくら財調に積めるのか示していただかないと、令和9年度予算編成がどれだけ厳しいか分かりにくい。繰越金のサイクルや活用を今後ぜひ示していただきたい。

○現在決算作業中だが、基本的にすでに繰越金のうち20億円は当初予算で使用しており、残りの一定額は財調に積む必要がある。それらを踏まえて決算が固まった時点で、今後の9月補正の財源がお示しできると考える。今回はまだ具体的な数字は示せないが、どこかのタイミングで説明させていただきたい。

≪結果≫

了承。

5 令和8年6月藤沢市議会定例会常任委員会報告案件について  
<常任委員会報告案件（2）>

旧桔梗屋の保全活用に係る事業進捗について

□計画建築部長から、資料に基づき概要説明が行われた。

≪内容≫

旧桔梗屋の保全活用事業に係る優先交渉権者の選定結果等について報告するもの。

≪主な意見等≫

	<p>なし。</p> <p>《結果》</p> <p>了承。</p> <p>&lt;常任委員会報告案件（6）&gt;</p> <p>リサイクルプラザ藤沢の火災対応に係る進捗状況等について</p> <p><input type="checkbox"/>環境部長から、資料に基づき概要説明が行われた。</p> <p>《内容》</p> <p>令和7年9月4日に発生したリサイクルプラザ藤沢における火災への対応について、廃棄物の処理状況、建物本体等の復旧工事、再発防止に向けた取組等を報告するもの。</p> <p>《主な意見等》</p> <p>なし。</p> <p>《結果》</p> <p>了承。</p> <p>&lt;常任委員会報告案件（9）&gt;</p> <p>（仮称）藤沢市中学校給食センター整備運営事業実施方針（案）について</p> <p><input type="checkbox"/>教育部長から、資料に基づき概要説明が行われた。</p> <p>《内容》</p> <p>民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）第5条第1項の規定に基づき、事業の実施に関する基本方針（実施方針案）を策定したことから、その内容について報告するもの。</p> <p>《主な意見等》</p> <p>なし。</p> <p>《結果》</p> <p>了承。</p> <p>&lt;常任委員会報告案件（10）&gt;</p> <p>公共料金の見直しについて（改定案報告）</p> <p><input type="checkbox"/>財務部長から、資料に基づき概要説明が行われた。</p> <p>《内容》</p> <p>公共料金の見直しについて、改定案を作成したため報告するもの。</p> <p>《主な意見等》</p> <p>なし。</p> <p>《結果》</p> <p>了承。</p>
--	--

6 開庁時間（窓口受付時間）短縮の試行について（総務部）

□総務部長から、資料に基づき概要説明が行われた。

《内容》

2027年1月12日（火）から2027年6月末までの間、試行的に開庁時間（窓口受付時間）の短縮を行うことを検討していることからその検討状況について報告するもの。

《主な意見等》

- ガイドライン（案）の4つの目的については、対外的に示すのであれば工夫したほうが良いのではないかと。特に市民窓口センターを中心にかなり待ち時間が長い状況もあるので、市民に配慮しながら発信をしていく必要があるのではないかと。
- ガイドラインは庁内向けのもの。先進都市の中には、働き方改革を全面に押し出して実施している自治体もあるが、ご指摘のとおり本市としては（3）（4）の目的を推し進めながら、外部には発信していきたいと考えている。
- 多くの窓口を抱える市民自治体としては、試行時期と繁忙期が重なることをとても懸念している。各課の判断で業務時間、開設時間を変更できるとしているが、特に今年度は選挙が年度末にあるため、市民の待合スペースの物理的制約もあるなど業務上の課題もある。電話の対応時間も短時間にしていきたいのであれば、コンタクトセンターへの対応についても必要である。職員に安心して取り組んでもらえる説明材料が不足しており、意見交換の機会を設けてほしい。
- 先進都市でもあえて繁忙期に実施している自治体もあり、特に問題はなかったと聞いているが、自治体の状況によって異なる。本市については、特に1階の窓口の繁忙期の状況もこれまで物理的な改善や業務改善を総務部としても推進している部分もあるが、市民への影響度をしっかりと測って、総務部だけでなく、各部局を巻き込んで職員が安心できるよう、意見交換をしながら試行に向けて進めていきたいと考えている。
- 個別性の高い市民サービスは対象外とあるが、市民センター内でも住民担当、地域担当、あるいは生涯学習事業の担当などとの調整があるため、どの業務の何を短縮するのかきちんと示していきたい。
- すでに業務上でつながりのある部分は確認しているが、見えていない部分もあるので、各部局から意見をいただきながら、ずれのないように進めていきたい。

《結果》

了承。

(2) 報告・情報提供等

ア 令和8年度における重点化事業レビュー（サマーレビュー）の見直し及び今後の事業検討等の調査について（企画政策部）

□企画政策部長から、資料に基づき概要説明が行われた。

≪内容≫

限られた財源の最適化を図るにあたり、令和9年度に向けた新規・拡充事業を早期に確認するための調査等を実施するとともに、令和8年度における重点化事業レビュー（サマーレビュー）の取り扱いを見直したものの。

≪主な意見等≫

○議題1の資料に、新規拡充については必ず財政課に相談と指示があり、実務的に財政課と企画政策課とどちらへ先に相談すべきか整理していただきたい。

○予算の概算要求にも上げていくと思うので、調査票としてはそれを記載してほしい。各部局がわかりやすいように財政課と調整する。

4 その他

○5月24日午前9時から第50回ゴミゼロクリーンキャンペーンを開催予定である。前日までにホームページに実施可否を掲載予定なので、職員には奮って参加していただきたい。

○3月26日の政策会議で市民生活に関する意識調査の集計結果を報告したが、分析レポートについて6月上旬を目途に情報提供する予定である。

○財政事業や今後について議論があった。人件費・扶助費・物価高騰、公共施設の再整備などが一度に来て、急坂に差し掛かっている。皆さんと協力して駆け上がり、明るい未来が見えてくるだろうと希望を持っているので、一致団結できるようよろしくお願いいたします。

○本日付で依命通達を掲示する。これから決算関係事務や6月議会の議案チェックなど気を遣わなければならないと思うので、改めて事務の適正化を図るようお願いしたい。

5 閉会